

ScholarOne Manuscripts リリースノート

リリース v4.24



ScholarOne Manuscripts

リリース 4.24 - 発行日: 2018 年 12 月







著者

Chris Heid Product Lead, Publishing & Associations (製品リード、公開および関連事項)

Chris は、Clarivate Analytics の ScholarOne プラットフォームに関する製品管理を担当し ています。これまでのプロジェクトには、 査読者検索、発行者レベルのレポートおよび ORCID 統合などが含まれます。

Greg Kloiber

Sr. User Experience Designer, ScholarOne (シニアユーザー エクスペリエンス デザイナー、ScholarOne)

Greg は、ScholarOne Manuscripts および Abstracts の両方の重要なプラットフォーム 分野で設計変更を手がけました。最近は、 Review Center for ScholarOne Manuscripts の 改良を担当しています。

Sven Molter

Sven は、業界で 12 年間の経験を有し、 2009 年以来 ScholarOne に携わっています。 Client Implementation Manager(クライアント インプリメンテーションマネージャー)から 始まり、ScholarOne Abstracts プラットフォー ムを使用するクライアントを支援してきまし た。ScholarOne 以前には、Executive Director Incorporated で、学会、メンバーシップおよ び教育(行動医学会)のシニアマネージャー として、年次学会の企画プロセスを統括しま した。



以下の機能は、ScholarOne Manuscripts v4.24 で リリースが予定されています。本資料は、各機能 のデフォルト設定値に関する情報を記載します。 ご不明な点は、Chris Heid(434.964.4040)まで お問い合わせください。 3

このリリースには、すべての ScholarOne Manuscripts ユーザーが直接影響を受ける拡張 機能や変更が含まれています。リリース前に ユーザーに連絡し、影響を受ける可能性のある 変更に備えられるようにしてください。その他の 機能についてユーザーが新機能の恩恵を受けるた めには、管理者や ScholarOne の担当者が機能を 有効にする必要があります。

リリースの概略

このリリースの各機能のデフォルトの設定および値を以下に示します。デフォルトのいずれかを変更する場合、 ScholarOne に連絡し、事例を提出してください。

機能	概略
<u>ORCID ログイン</u>	ユーザーは、各自の ORCID 資格情報を使用して、この機能が設定された雑誌に ログインできます。
	<mark>必要なアクション</mark> : まだ ORCID メンバー資格情報を保持していない雑誌および発行者 は、ORCID から資格情報を取得する必要があります。ユーザーは、ログインプロセス の一環として、ScholarOne に各自の ORCID アカウントを 一度リンクするだけです。
<u>他の ORCID 改善点</u>	システム内での ORCID 使用率をさらに拡大するため、以下に取り組みます。
	 ・ 査読フォームで査読者の ORCID iD を取得します。関連付けが完了すると、 査読フォームが表示されるたびに ORCID iD を表示し、査読者が ScholarOne サイトにログインするとそのアカウントに関連付けます。 ・ 発行者が別の発行者から雑誌を取得するときに、ORCID iD を確認します ・ 未確認の ORCID iD をすべて削除します ・ 雑誌または共有ポータルですでに ORCID iD が存在する場合、ユーザーが ORCID iD を確認できなくなりました
	必要なアクション:まだ ORCID メンバー資格情報を保持していない雑誌および発行者
委譲の拡張機能	は、ORCIDから資格情報を取得する必要があります。 V4.24 リリースには、さまざまな論文委譲関連の拡張機能が含まれます。 • 著者に選択可能な複数の委譲オプションを送信する機能。
	 決定フォームにカスタム質問を追加するオプション
	 ・ ・ ・

V4.24 リリースでは、ScholarOne と CASRAI CRedit 分類が統合されます。 CRediT 分類の統合 投稿中に著者寄稿を収集する機能 • 改訂など、特定のワークフロー中のみに収集する柔軟性 • ScholarOne DTD で XML エクスポート機能のサポート **必要なアクション**: 設定更新が必要です。 会話ツールの更新 無料の会話ツールが、以下のように更新されます。 多数の操作性に関する拡張機能: • 総合的な UI の改善 ○ タブラベルの変更 ○ 会話を PDF としてダウンロードする機能の追加 ○ 仲介機能: 不適切なコメントの非表示 ○ 参加者を選択する場合の読み込み時間の改善 新しく追加された、参加を依頼する変更可能な自動 E-Mail • 新しく追加された、未読投稿の管理者待ちリスト Cognos レポート DTD エクスポート 必要なアクション:なし 雑誌は、新しい RTF アップロードオプションを使用することで、論文プルーフの <u>プルーフでの文書ベースのタグ</u> 2ページ目に文書ベースのタグを含めることができます。 これにより、雑誌は、カスタム質問への回答をプルーフに直接含めることが • できます。 ・ 雑誌から変更可能であり、プルーフの2ページ目にテキストまたはタグ回答 を表示できます。

必要なアクション: 設定更新が必要です。

GDPR 管理者削除 管理者は、[アカウント詳細] ポップアップの [アカウント情報] タブで、 [管理オプション] を使ってアカウントを削除できます。

必要なアクション:なし

<u>一斉送信 E-Mail 検索の変更</u>	V4.24 リリース以降、一斉送信 E-Mail 検索結果に、マーケティング情報をオプトアウ トしたユーザーが含まれなくなります。
	<mark>必要なアクション</mark> :なし
<u>完了済み査読の Publons</u> <u>クレジット</u>	ScholarOne の V4.24 リリースでは、以前に完了した査読に査読者がクレジットを受け 取れるようにする機能が導入されます。
	<mark>必要なアクション</mark> : Publons がサイトに設定されている場合、なし。設定されていない 場合、担当マネージャーまで詳細をお問い合わせください。
<u>Ringgold 接続アラート</u>	ScholarOne は、Ringgold 接続アラートを実装します。
	 これにより、ユーザーは、Ringgold に接続されていない機関を簡単に特定できます。 経時的に、Ringgold に接続される機関数が増大します。
	<mark>必要なアクション</mark> :なし
<u>高度な査読検索での矛盾する</u> <u>アラートの更新</u>	ScholarOne では、利害が対立する査読者検索結果にフラグを設定する論理が更新され ます。

必要なアクション:なし

ORCID ログイン

ORCID は、各研究者に一意の識別子の集中レジストリを作成し、学術通信に久しい以前から存在する名前の曖昧さの問題を解決することを目的とした非営利組織で、ORCID と他の現行著者識別子体系の間にオープンで透過的な リンクメカニズムを確立します。ORCID の詳細については、<u>http://orcid.org/content/initiative</u> をご覧ください。 リリース v4.24では、ユーザーが、各自のORCID 資格情報を使用して、参加中の ScholarOne サイトにログインできます。 まず、ユーザーは、参加中の ScholarOne サイトで、[*ORCID ID でログイン*] ボタンをクリックします。



続いて、ORCID にログインするか、ORCID アカウントを登録します。

Sign into ORCID	or Register now
L Personal account	finstitutional accoun
Sign in with you	r ORCID account
Email or ORCID iD	
Email or ORCID iD	
ORCID password	
ORCID password	
Sign inte	o ORCID
Forgotten your password? R	leset it here

ユーザーが、すでにこのログインプロセスを実行済みである場合、または ORCID iD を該当する ScholarOne プロ ファイルにリンク済みである場合、ScholarOne サイトに自動的にログインします。

ORCID と ScholarOne アカウントを初めてリンクする場合、ユーザーは、ORCID iD を取得し、名前や住所など、 アクセスが制限された情報を読み出すために発行者または雑誌を認証するように求められます。アクセスが制限さ れた情報を読み出すことで、ScholarOne アカウントを所持しない新しいユーザーはアカウントの作成時に、必要な プロファイル情報を事前に入力しやすくなります。



次に、ユーザーは、ORCID アカウントを ScholarOne サイトにリンクする必要があります。新しくアカウントを作成 するのか、既存のサイト資格情報でログインするのか、オプションを提示する中間ページが表示されます。



ScholarOne サイトにすでにアカウントがある場合、ユーザーは、ScholarOne ログイン資格情報を一度だけ入力する 必要があります。以降は、ScholarOne または ORCID 資格情報の*いずれか*を使用して、参加中のページにログインで きます。

ログイン します	して、ORCID ID にリンク
DRCID ID をこのサイトに	リンクするには、既存のアカウントに一度ログインしてくださ
^{、。} その後、ORCID 資格情報	を使用して、直ちにサインインできます。
The Journal Of	ユーザー D アカウントを作成 [パスワード パスワードのリセット □ ログイン
	Cancel ORCID iD linking process

必要なアクション: まだ ORCID メンバー資格情報を保持していない雑誌および発行者は、ORCID から資格情報を 取得する必要があります。

他の ORCID 改善点

ORCID アカウントでサインインする機能に加えて、ORCID iD の収集と維持に関する改善が追加されました。

査読内での ORCID iD の取得

査読フォーム(すなわち、「スコアシート」)は、査読者の ORCID iD を求めるように設定できます。査読者の回答 は、必須にも任意にも設定できます。査読者がログインすると、ORCID iD が査読者のアカウントに関連付けられま す。ログインしていない場合は、サイトに査読フォームが表示されている場所のみが表示されます。

ORCID iD がない場合、質問は以下のように表示されます。

必须 以下の適切なオプションを選択して、ORCID iD をアカウントに関連付けます。			
ORCID iD を作成。 既存の ORCID iD の関連付け。			
ORCID(Open Researcher and Contributor ID) iD は、個々の研究者を一元的に管理するための識別子です。 詳細については、 <u>http://orcid.org/content/initiative</u> をご覧ください。			

ORCID iD を関連付けた後、質問には、関連付けられた ORCID iD が表示されます。

87 Dhttp://orcid.org/0000-0001-5924-5537	▶ ORCID ID の更新
	🔀 削除
ORCID (Open Researcher and Contributor ID) iD は、個々の 詳細については、 <u>http://orcid.org/content/initiative</u> をご覧ください。	の研究者を一元的に管理するための識別子です。

雑誌を取得した後に ORCID iD 確認を維持

発行者が別の発行者から雑誌を取得した場合、ユーザーアカウントの ORCID iD は以下のようになります。

- 削除されません
- xml エキスポートでも認証が維持されます
- すべての 雑誌の ORCID トークンおよび範囲が削除されます

確認されない ORCID iD の削除

ずっと以前のリリースでは、ユーザーは、ORCID サイトで確認しなくても、ORCID iD を手動で入力できました。さ すがにこのような状況ではありませんが、ごく少数(1%未満)の確認されない ORCID iD がまだシステム内に存在 します。このリリースの一環として、このような ORCID iD を削除します。

備考:確認されていないORCID iD の横には赤い「X」印が表示されます。

重複する ORCID iD の削減

ORCID クリーンアップの一環として、ユーザーは、サイトの別のアカウントで使用されている ORCID iD を認証でき なくなります。

委譲の拡張機能

ScholarOne で雑誌の間で投稿済みの論文を委譲できる機能は重要であり、各雑誌が対象となる範囲に的確に合った 記事を査読し、発行するため、発行者による使用が大幅に拡大しています。v4.24 リリースには、著者に複数の委 譲選択肢を提供するオプションを含め、委譲を使用する雑誌向けに複数の拡張機能が含まれます。

著者の委譲選択肢

V4.24 以前は、著者への記事の委譲を許可する雑誌は、論文が複数のポートフォリオタイトルのホームになり得る場合でも、著 者の委譲選択肢を1つの雑誌に限定する必要がありました。このため、著者の委譲選択肢が必要以上に狭まり、発行者 が適切に記事を委譲できなくなっていました。V4.24 リリースでは、雑誌が設定オプションにより、著者に複数の 委譲選択肢を提供し、論文に最適なホームを選択できるようにします。 雑誌が、[決定の辞退および委譲]の[著者の委譲選択肢]オプションを設定すると、委譲オプションを選択したとき に著者に利用可能な選択肢が決定タスクに表示されます。このような著者向けの雑誌のオプションは、固定にする ことも(委譲されるすべての論文に同じ選択肢)、変更可能にすることもできます(決定を送信する前に意思決定 者が提供される論文をカスタマイズ可能)。この機能は、著者と雑誌の両方に最大限の柔軟性と選択肢を提供する ことを目的としています。

🖃 編集長即時決定		□ 編集長即時決定
		採否の決定
 即時受理 即時小改訂 即時大改訂 言語編集の即時改訂 即時リジェクトと再投稿 即時リジェクト 譲渡可能なリジェクト 著者は、下記の選択された雑誌への委譲を設定できます。 ✓ QA - Red Site - prod6-qared ✓ Workflow 0 - prod6-workflow0 		 即時受理 即時小改訂 即時大改訂 部編集の即時改訂 即時リジェクトと再投稿 即時リジェクト 御崎リジェクト 御崎リジェクト 御崎リジェクト 御崎リジェクト 御信、下記の選択された雑誌への受講を設定できます。 QA - Red Site - prod6-qared Workflow 0 - prod6-workflow0
信集長決定コメント(内部使用のみ) :		編集長決定コメント (内部使用のみ):
図 E-Mail の作成	🖌 保存 🚺 決定	図 E-Mail の作成

ScholarOne Manuscripts ¹¹⁴	日本語 マ	投稿規定·各種書類	ヘルプ
発行用環境ではありません			
▶ 通知:サイト構成が完了しました。投稿は剤除されます。			
委譲先を選択します ^{以下の論文範疇ナナョンEHI206 を確認し、必要な選択数を選択します。}			
Workflow 0			
QA - Red Site			
◎ 論文委譲環示の拒否			
キャンセル		ユーザー選択	の送信

ScholarOne の現在の委譲機能と同様に、委譲オプションを 受け取る著者は、E-Mail のディープリンクタグまたは自身の 著者センターから対応できます。E-Mail タグから対応する場 合、著者は、ScholarOne の中間ページにリンクされます。

ログインしなくても、著者には、該当する委譲オプション と、自分の論文の委譲を辞退する最終オプションが表示され ます。現在の委譲機能と同じく、委譲を辞退すると、最初に 投稿したサイトで論文が最終的に辞退されます。

去投稿論文 (去提出)	5	TAKENDIN			
		操作	ID	タイトル	承認リクエスト日
4投稿済み論文	>	チャナプションの主	WDK4 2019 0146	EN1206	2019 12 6
査読済み論文	>	安藤オフションの表示	WRR4-2010-0140	論文を見る	2010-12-0
最終原稿未提出論文	>				
転送承認待ち論文	>	委譲オプションの表	WRK4-2018-0145	● 委譲先を選択します	:
新規 投稿 の開始	>	示		論文 以下の論文委譲オプション EN1206 を確認し、必要	な選択肢を選択します。
最近の E-Mail 5 件	>	委譲オプションの表	WRK4-2018-0144	ES1 Workflow 0	
英文校閲サービス	>	亦			

著者が、自身の著者センターダッシュボードから委譲依 頼に対応する場合、引き続き[委譲承認待ちの論文] 待ち リストに移動します。この待ちリストに入っている論文 で著者の雑誌選択肢が1つしかない場合、[アクション]

★ - ^ + - z 、 <u>→ m / + - + - △ + +</u> 委譲先を選択します 以下の論文委譲オプション EN1206 を確認し、必要な選択肢を選択します。 [●] Workflow 0 [●] QA - Red Site [●] 論文委譲提示の拒否	206 てを見	a ර		
以下の論文委譲オプション EN1206 を確認し、必要な選択肢を選択します。 Workflow 0 QA - Red Site 論文委譲提示の拒否 	F	<u>ヽヽ+ -z n/+ - +</u>	×	
 Workflow 0 QA - Red Site 論文委譲堤示の拒否 		以下の論文委譲オプション EN1206 を確認し、必要な選択肢を選択します。		
 ◎ QA - Red Site ◎ 論文委譲提示の拒否 		Workflow 0		
◎ 論文委譲提示の拒否		QA - Red Site		
		◎ 論文委譲提示の拒否	-	
キャンセル		キャンセル	ŧ.	

列に [承認] および [辞退] リンクが表示されます。論文が委譲選択肢機能を使用している場合、[委譲オプションの 表示]というリンクだけが表示されます。

このリンクをクリックすると、著者が提供されたすべてのタイトルから必要な委譲先を選択するか、論文の委譲を 辞退するかを選択するモーダルが表示されます。

[委譲された論文の投稿] リマインダー

委譲プロセスをより効率よく、素早く実行できるように、ScholarOne の v4.24 リリースには、E-Mail リマインダーに 新しい設定可能なオプションが含まれます。「委譲された論文の投稿」 イベントでは、委譲される論文の受け取り 側雑誌が、著者に E-Mail 通知を送信し、現在まだ草稿である委譲記事の投稿を完了することを著者に促すことがで きます。複数のリマインダーを設定し、委譲記事を受け取った後、指定の日数ごとに送信できます。E-Mail 通知の タイミングは、[リマインダーの日数] 列で指定します。入力する値は、論文の受理後に通知を送信する日数を示す ため、正の整数であることが必要です。通知 E-Mail は、著者が著者センターで委譲する草稿を受け取ったときを基 準として送信されます。雑誌が、委譲される論文をまず雑誌管理者へ送信するように設定されている場合、通知の タイミングは、管理者が著者に論文を送信したときを基準とします。委譲された論文が投稿されると、以降の通知 はキャンセルされます。

€ 委譲された論文の投稿 - <u>テンプレートの追加</u>			
Reminder Submission of Transfered Manuscript		1	
Reminder Submission of Transfered Manuscript 3		3	
Reminder Submission of Transfered Manuscript 5		5	
このワークフローの E-Mail テンプレートを次にコピー 🔲 傳	投稿ワー 正投稿ワ	クフロー ークフロー	保存

決定タスクのカスタム質問

ScholarOne Manuscripts 4.24 では、雑誌が 決定タスクのカスタム質問を設定できま す。これまでのリリースでは、カスタム 質問をチェックリストや査読報告タスク で設定できましたが、決定タスクでは設 定できませんでした。このような機能に より、編集者は、意思決定プロセスに関 する重要な情報を提供できます。たとえ ば、雑誌は、「この論文で、著者に許可 した委譲選択肢が適切であった理由」を 尋ねることができます。

決定タスクのカスタム質問は、決定オプ ションの下に表示されます。これらの質 問の設定は、[タスク設定] セクション内の 各タスクに表示されます。

∃ #	嘉集長即時決定
採否	の決定
\bigcirc	即時受理
\bigcirc	即時小改訂
\bigcirc	即時大改訂
\bigcirc	言語編集の即時改訂
\bigcirc	即時リジェクトと再投稿
\bigcirc	即時リジェクト
۲	譲渡可能なリジェクト
	転送先: prod6-qared - QA - Red Site ▼
編集	€長決定コメント(内部使用のみ):
	E-Mail の作成

CRediT 統合

著者の編集				×
* 著者寄稿 - CRediT 分類 ❷				
寄稿者ロール	寄稿度	寄稿者ロール	寄稿度	
□ 概念化		■ リンク		
□ データ整理		□ ソフトウェア		
□ 正規分析		□ 管轄		
□ 助成金の取得		□ 検証		
□ 調査		ビジュアル化		
□ 方法		□ 作成 - 元草稿		
■ プロジェクト管理		□ 作成 - 査読と編集		

ScholarOne Manuscripts v4.24 リリースでは、記事投稿を CASRAI の CRediT 分類と統合し、投稿する著者が、リスト に含まれる各著者による寄稿を簡単に識別できるようにします。CASRAI の分類は広範囲に普及しており、14 の高 レベルのロールで構成されます。「これらのロールは、著者の権限を定義するものではなく、学術的発行物を作成 できるようにするすべての作業を収集することにあります」- CASRAI

投稿中の著者寄稿の収集

CRediT 機能を ScholarOne サイトに設定すると、[新しい著者の作成] と投稿プロセス中に表示される [著者の編集] モーダルに新たなセクションが追加されます。この新しいセクションは [著者の寄稿 - CRediT 分類] というタイト ルで、[E-Mail] フィールドのすぐ下に表示されます。このような追加データを適切に収容するため、対応する モーダルの範囲を拡張しました。

このセクションでは、14 の CRediT 著者寄稿がそれぞれチェックボックスとともに表示され、投稿する著者が各共 著者にふさわしい寄稿を選択できるようにします。投稿する著者に詳細またはガイダンスを提供する場合、このセ クションのヘッダーに、デフォルトのテキストを含む説明手順が表示されますが、必要に応じてカスタマイズする こともできます。

寄稿度

CRediT 分類は、「寄稿度」を任意の第2要素として規定します。この寄稿度要素は、所定のロールに追加の説明を 提供し、2人以上の著者がロールを共有するときに使用される頻度が高くなりますが、必ずしもこれには限定され ません。たとえば、3人の著者が研究方法の開発に関する責任を共有するが、1人がリーダー的な役割を果たす場 合、3人の著者がすべて「方法」の寄稿ロールに関連付けられますが、その寄稿度を「リーダー」、「同等」また は「サポート」としてそれぞれ追加で指定できます。雑誌は、[寄稿度] オプションがなくても、著者の寄稿情報を 収集できます。

各著者に選択した寄稿度は、投稿フォームの[選択した著者] セクションと、[論文詳細] ページに表示されます。

著者			
* 著者リスト			
順序操	作	著者	所属機関名
	選択 🔽	Chen, Lei 概念化 (同等) 正規分析 (リード) 作成 - 元草稿 (サポート) lei.chen@clarivate.com	1. 🛕 ScholarOne Beijing, CN



ワークフロー設定オプション

ScholarOne は、既存のワークフローに簡単に適合するように、CRediT 統合を開発しました。著者寄稿の収集は、任意または必須として実行できます。場合によっては、論文を投稿する前に、すべての著者が、その著者レコードに 1つ以上の寄稿が関連付けられている必要があります。 さらに、著者の寄稿は、雑誌定義の特定ワークフロー内で収集できます。たとえば、辞退率の高い雑誌は、初回の 投稿を CRediT データに含めるように著者に求めなくても、承諾率が高い改訂版では CRediT データを必須とするように決定できます。

著者の編集				×
* 著者寄稿 - CRediT 分類 ❷				
寄稿者ロール	寄稿度	寄稿者ロール	寄稿度	
✔ 概念化	同等	■ リンク		
□ データ整理		□ ソフトウェア		
☑ 正規分析	U-8 v			
		□ 検証		
□ 助成金の取得		■ ビジュアル化		
□ 調査		☑ 作成 - 元草稿	サポート	
□ 方法				
□ プロジェクト管理		■ 作成 - 査読と編集		

会話ツールの更新

会話ツール - UIの拡張機能

UI 更新は、ドロップダウン、アイコン、列幅など以外に、以下にも適用されます。

- 参加者を選択する場合の読み込み時間の改善
- 会話を PDF としてダウンロードする機能の追加。モデレータが非表示にした投稿の非表示

トピック	
Peer Review Discussion	Ł

• タブの再ラベル(備考:タブは、ユーザーが許可されている場合にのみ表示されます

IB		
揭示板	参加者	グループ
新		
🧙 会話	\$ 会話	管理 🛛 管 参加者グループ

スタッフをモデレータとして設定し、不適切なコメントを非表示にできます。

モデレータに [投稿の非表示] リンクが表示される投稿

Firstname Lastname DD-MMM-YYYY 00:00:00 EDT If you have a problem and no one else can help, and if you can find them, maybe you can hire the A-team. 投稿を非表示

モデレータを除き、すべてのユーザーで非表示になる投稿

Firstname Lastname DD-MMM-YYYY 00:00:00 EDT If you have a problem and no one else can help, and if you can find them, maybe you can hire the A-team. 投稿が非表示になりました - 投稿を表示

備考: 会話のモデレータによって非表示にされた投稿でも、ScholarOne DTD では表示されます

会話ツール - 新しい自動 E-Mail

会話への参加を奨励するため、新しい週次リマインダー E-Mail テンプレートを利用できます。この自動 E-Mail は、 追加された参加者に毎週送信されます。これは、前回のダイジェスト E-Mail が送信されてからまったく読まれてい ない会話のダイジェストとなります。ユーザーが特定の会話を閲覧した場合、E-Mail 内のリストには含まれません。

この E-Mail は、参加者がすべての会話を1度以上表示した場合、または会話の論文がアーカイブされた場合は送信 されません。

この E-Mail は、[その他のイベントによる E-Mail] に表示され、1 つのダイジェストが複数の文書に関する会話に対応できるため、ユーザー-中心となります。したがって、論文の査読履歴には表示されません。

必须 🕄 会話:参加者リマインダー(ダイジェスト) - <u>テンプレートの</u> 追	<u>150</u>		
Remind Participant Weekly			

新しい E-Mail タグ、##UNREAD_CONVERSATIONS_LIST##

この新しいタグは、##DOCUMENT_NO##、##DOCUMENT_TITLE##、および ##CONVERSATION_TITLE## を表示します。 すべての未読(すなわち、「未表示])会話で新しい列として反復表示されます。

新しい E-Mail タグ、##GO_TO_UNREAD_CONVERSATIONS_QUEUE##

このタグは、サインインの後、ユーザー/参加者の未読会話待ちリストへのディープリンクを作成します。

会話ツール - 新しい管理待ちリスト、[新規投稿を含む論文]

このリンクをクリックすると、ユーザーが該当する論文の会話を最後に表示してから後に、新規投稿があった論文 の待ちリストが表示されます。機能の一貫性を図るために、「アクティブ」は「オープン」に変更されました。 *備考: このリンクは、クライアントソリューションサービスの担当者がダッシュボードで設定する必要があります。*

旧

新

揭示板

会話

<u>6</u> <u>アクティブなカンバセーションを記載した論文</u>

- 5 会話がオープンの論文
- 0 新しい投稿を含む論文

会話ツール - Cognos レポート

「会話」という新しいサブ項目が、[カスタム質問] と [関連論文] の間の [ピアレビューの詳細] に追加されます。新 しいデータ要素:

- 会話名
- 会話ステータス
- 会話の初回オープン日
- 会話の最終クローズ日
- 投稿数



会話ツール - DTD エキスポート

ScholarOne DTD では、会話が、<fundref_information> 要素の後に <conversations> という任意の要素として直接エキ スポートされます。

例:

<conversations >

<conversation conversation_name='scope fit' conversation_status='closed' orig_open_date='2018-01-31
01:10:24.24' final_closed_date='2018-04-31 01:10:24.24'>

<post seq="1">

<post_author>Jane Doe</post_author>

<post_date>2018-02-04 01:10:24.24/post_date>

<post_content>This article does not fit our journal</post_content>

</post>

</conversation>

</conversations>

備考:

- 会話のモデレータによって非表示にされた投稿でも、ScholarOne DTD では表示されます。
- 各投稿は、会話のモデレータに非表示にされたかどうかを示す属性を含みます。

プルーフでの文書ベースのタグ

雑誌は、既存の文書ベースタグを使用した RTF アップロードにより、論文プルーフの2ページ目にカスタム質問への回答を追加できるようになります。

投稿(

● [投稿設定] <u>構成</u> から [プルーフ] セクションにアクセスします。 ^{論文プルーフ}

☑ RTF カスタム質問のアップロード: 参照... ファイルが選択されていません。 ▲ アップロード

- RTF ファイルにはテキストと文書ベースのタグを含めます。
- チェックボックスをオンにして、[ファイル] と [アップロード] を選択します。
- 有効になっている場合、RTFの質問がプルーフの2ページ目に表示されます。
- 投稿するユーザーが質問に答えない場合、[データなし]が表示されます。

RFT ,	入力値	プルーフ出力
	I. 論文種別: ##CUST_MANUSCRIPT_TYPE##	1. 論文種別:元の記事
希望	査読者	希望査読者
	 査読者は何人にしますか? ##CUST_HOW_MANY_REVIEWERS_WOULD_YOU_LIKE_TO_HAVE## 編集者は何人にしますか? ##CUST_HOW_MANY_EDITORS_WOULD_YOU_LIKE_TO_HAVE## 査読者を選択してください。 ##CUST_DIEASE_SELECT_REFUEWERS## 	 1. 査読者は何人にしますか?査読者は 1人にしてください。 2. 編集者は何人にしますか?編集者は 1人にしてください。
	##CUSI_PLEASE_SELECI_REVIEWERS##	3. 査読者を選択してください。データ なし
詳細	とコメント	詳細とコメント
	l. 白黒図の数: ##CUST_NUMBER_OF_BLACK_&_WHITE_IMAGES##	1. 白黒図の数:0
	2. 表の数: ##CUST_NUMBER_OF_TABLES##	2. 表の数:2

GDPR 管理者削除

[このユーザーの削除(GDPR)]リンクが、[アカウント詳細]ポップアップの[アカウント情報]タブに追加されまし た。このリンクは、以下の条件を満たす場合にのみ表示され

ます。

- ユーザーは、著者および査読者ロールのみであるこ とが必要です。
- ユーザーに保留の投稿がありません。投稿は削除ま └─ たは判定済みであることが必要です。
- ユーザーに保留の査読者割り当てがありません。査読は、再割り当てまたは投稿済みであることが必要 です。
- クリックすると、アラートが出力され、ScholarOneではこのアクションを取り消せないことを警告する。
- アラート GDPR を了承すると、アカウントが削除されます。

一斉送信 E-Mail の変更

v4.24 では、一斉送信 E-Mail 検索から、アカウント作成のユーザー ld/パスワードステップでマーケティング E-Mail の質問に オプトアウトで答えたユーザーが排除されます。

管理者オプション:	
ログイン情報を送信するには <u>ここ</u> をクリックしてください。	
<u>このユーザーを削除 (GDPR)</u>	

Publons: 完了済み査読のクレジット

Publons は、学術機関が、雑誌への学術寄稿やピアレビューを追跡、確認および紹介できるようにします。 ScholarOne は、完了済みの査読履歴のクレジットをユーザーが検索できるようにする機能を追加して、Publons 機能を拡張しています。

- 査読センターに、[Publons クレジットが保留の査読] という新しい 待ちリストが追加されます。
 - クレジットを受け取るには、該当する論文の横にあるチェックボックスと [Publons クレジットの取得] を選択します。
 - Publons へのデータ転送を確認する完了メッセージが表示されます。

査読者 論文の表示	
1 査読とスコア	>
71 投稿済みスコア	>
54 Publons での認知の受理	>
1 依頼	>

☆ Publons に正しく投稿された査読

重要事項: この待ちリストは、正規の Publons 質問を使用しているクライアントにのみ表示されます(旧バージョンのカスタム質問モデルを使用しているクライアントには表示されません)。カスタム質問から正規の Publons 質問 に切り替えると、DTD 出力が変更されます。この変更を依頼するには、担当のカスタマーケアチーム (<u>ts.mcsupport@clarivate.com</u>)に連絡してください。

投稿済	み査読にP	ublons クレジット	が利用可能
以下を含む	完了	ID/タイトル	ステータス
	2018-11-19	WRK4-2018-0112	即時小改訂 (2018-11-20) 修正論文を
		Check user	提出)済め
			査読結果の表示

Ringgold 更新

Ringgold 検索の改善

Scholar One は、4.24 リリースで、Ringgold 検索ツールの更新を実施します。ユーザーが Ringgold データベースで 所属機関を見つけるのに苦労したのはもう過去の話です。アルゴリズム、フィルター、および検索ダイナミクスの 改善により、ユーザーは、Ringgold データベースで簡単に機関を検索できるようになりました。

Ringgold 接続アラート

Ringgold ID は、所属機関/部署名の管理を容易にするため、組織に適用される一意の識別子です。リリース 4.24 では、所属機関が Ringgold ID に接続されていない場合、ユーザーにアラートが出力されるようになります。

- Ringgold に接続されていない機関の横には警告アイコンが表示されます。
- Ringgold に接続されていない機関でも、投稿は禁止されません。
- 警告アイコンの上にマウスを移動すると、ツールチップが表示されます。このとき、「この機関は Ringgold に接続されていません。機関が Ringgold に接続されることが重要である理由については、FAQ を 参照してください」というメッセージも表示されます。
- 警告アイコンを消去するには、ユーザーは、アカウントを編集し、Ringgold に接続された機関を選択する だけです。

所属機関名:	🛕 ScholarOne 🗙		必須	
部署名:				
住所:	China	R 6		
国名:	中華人民共和国		X 66	
都道府県名:				
市区郡:	Beijing	必须		
郵便番号:	10000	必须		
電話番号:				
ファックス:				

高度な査読検索での矛盾するアラートの更新

ScholarOne Manuscripts の v4.24 では、高度な研究検索で使用できるアラートの矛盾が更新されます。これまでは、 検索結果の査読者が機関または郵便番号を論文の対応する著者と共有している場合に、高度な検索で警告の 矛盾が発生していました。クライアントからのフィードバックに基づき、ユーザーにもっと意義ある情報を提供す るように、このアラートの論理にいくつかの変更が加えられます。

- 4.24 リリース以降、アラートの矛盾は、対応する著者だけでなく、投稿のすべての著者と機関または郵便 番号を共有する査読者結果に追加されます。
- 米国内の郵便番号に基づいた一致では、アラートをトリガーするのに、「追加の4桁コード」は無視して、最初の5桁だけが必要です。



検索条件: 名 = "yunfan"; 郵便番号 = "3333"; ロール = "S1M スーパー雑誌マスター 査読者"			
現 在 / 氏名、キーワード、所属機関、ロール 去 12 か 月	最終査読からの経過日数	平均Rスコア	追加
 ③ Yang, Yunfan. (prod6-s1m_sjm オフィス) Cのユーザーの郵便番号/所属機関が複数の著者と重複しています。 123 ロール: 著者 査読者 	36	0	
新規検索 検索条件変更		+	追加
G CSV 形式でエクスボート	結	果 1	-1 / 1